

1.計画名称

縄文プロジェクト

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	公民協働による横断的なさまざまな取組により、市民の「縄文」に対する関心が高まり、当市のまちづくりに欠くことのできない地域資源として認識が深まった。
今後の重点化 施策番号	1	説明	縄文プロジェクトを継続していくために、推進体制の見直しが必要と思われる。こうした点を議論すべく、年度末に実行市民会議を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	縄文プロジェクトの推進	やや遅れている	縄文文化賞事業や縄文ホームページ運営事業などにより、縄文についての認知度を高めた。	縄文プロジェクトのメンバーが固定されてきており、高齢化も進んでいるところから、停滞している感が否めない。新しい発想で事業が行いづらくなっている。	縄文プロジェクトの在り方を検討しなおして、新しい形態で、縄文プロジェクトを継続していく。
2					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		令和4年4月22日の縄文プロジェクト実行市民会議で、縄文プロジェクトのあり方を検討し直し、新しい形態で縄文プロジェクトを継続することが確認された。	新たな形態(組織体制)の方向性として、6つの部会(識る、広める、産み出す、楽しむ、守る、世界遺産)に代わる市が委嘱した10数名程度の識者で構成する委員会を検討する。
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5.添付資料

別紙「施策評価シート」